



Title	演習
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1950
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/77321">http://hdl.handle.net/2115/77321</a>
Type	manuscript
File Information	K001_0125.pdf



[Instructions for use](#)



TOKODO

# NOTE BOOK

演習

昭和二十五年度

鈴木

記

一、クワの地、洞壺ノニヤ

一、藤行地洞壺

一、鳥羽の穴

世帯云

奥尻島。石川

和同

百々丸底に相違す。殿戸ゴロコヤ(一版カ屋)

編摺外七字を在りて八字

編摺字は四粒に在り

才の同

三十年

ニシンの終止は三十一年より皆云

十七年以より不潔。折本御存は十八

年の十を精紙而粒を五に改め

人口記録

ニシンの海沿の諸庄の物り等は他になら

物物を十一年十八十町出

現在に在る五十町出

ニシンの記録は二十一年一五十七五年一

上り中、五れすう百

山林は如何 没木の既成

十九年より人口

十九年 百七十一戸

本村 三百五十七人  
他社民 四百八十二人

世帯の別 五戸三十一より四十戸まで  
他は移住

世帯人の割合

十九年

廿七戸  
夕方 三〇

二十五年  
一五戸

一七戸

十九年 ~~廿七戸~~ 廿四戸、廿四戸不

イカは十九年より

十九年 四十年 (は) 廿七戸、  
廿五年、  
廿六年

十九年よりイカに成り

昭和十九年よりイカ大漁 昭和十九年  
昭和十九年よりイカ大漁 昭和十九年  
昭和十九年よりイカ大漁 昭和十九年

昭和十九年

才三回 奥尻の道場園

新島内婚の漸増の傾向

婚出は近頃の婚入は遠くより。



一棟 十江月八日 五軒若尾 (十年) 市街地層

1 共済会

2 友子会

3 氏子会

4 研習会 (新築) 15日

5 保嬰自治会 15日

6 青年会

7 婦人会

8 研習会

9 保嬰自治会

4 研習会 15日 15日

10 研習会 15日

11 研習会 15日

12 研習会 15日

13 研習会 15日

14 研習会 15日

15 研習会 15日

16 研習会 15日

17 研習会 15日

18 研習会 15日



功娘は是等御是也。

令貴は宗孫村々二十五、相身十末。

此令礼福の志は令貴令親と同類。

代目付利子 松佐物子、皆若使の料

無比岩代子、収入あり、此等令評治は

此電候御志をおつた、二十五ありあり。

これら令礼御の屋敷、此等令評治は二名

任是は下取は存比の大。

上領令會費も取附しんて、さうかつん。

白主改あり。

令永と直勝といれ、仰子も親成也。

段々之は三葉にあり、竹除外に。



1-9

全道

65.9%

以下 なし	100	50	10	1	白 石
	499	99	49	9	
	二	五	〇	一	
				七	

五三八  
三一〇  
四五〇  
一〇三

10000	5000	1000	500	100	10	1	市 区 市 道
1	1	1	1	1	1	1	坊
999	499	99	49	9			
八	六	七	七	一			
	四	一	九	四			
				五			
				六			

61.09%

一  
三、  
五  
三  
八

二、  
七  
〇  
一  
八

四、  
七  
七  
七

一  
四、  
六  
三  
五

六、  
五  
〇  
九

男  
女

札幌  
区  
道  
坊  
女

4	3	2	1	坊 女
二 四 九	二 五 八	二 九 二	二 七 二	
六 一 八	四 六 〇	三 一 一	一 〇 四	女 一 六 八
三 七 八	三 一 四	二 七 三		

1005010 / 1  
1 1 1  
99999 49 9

北  
陵  
打

— 0 三 =

一  
五  
八

10 / 1  
1 1  
49 9

打  
鈴  
鐘  
半

五 五

一  
四

10 / 1  
1 1  
49 9

不  
穿

五 七

一  
六  
七

10 / 1  
1 1 1  
99 49 9

書  
子

三 = 二  
= = 一

一  
五  
四

四  
六  
九

一  
二  
一

二十六年 孫寶琦

一、調書包牙位 牛柳海

特兒月例 洞查北

六、不令今冬 研定端

二、余一均合 德道



一、一般の事として分類を批判する。

と云ふ之は眼目を見る。『世間の力』

の批評の批評 (中印の成り立ちの歴史)

### 一、調査項目

### 一、概略

一、調査の目的とスケール

### 一、ゲス

一、各種関係の苦痛の調査

### 項目

一、生活実態調査、基本調査

と云ふ事

論文作成

昭和二十五年  
秋 第二回

一、構成

一、同位時

一、方針、記号

一、論述(本論)

出典、引用等記

参考文献、資料の表

一、語彙、用語、おすい

一、内容

学説の批判

学説の系統、批評、文化との関係

他向性の現象、相関関係

改革の仕ととて

学説の発展

新説の決意、概念の整理



~~Community school~~

Olsen: "School and Community"

訳

学校と地域教育

一、学校  
二、都市の教育  
三、経済と教育  
四、教育の重要性

一、教育

教育の重要性

教育の重要性  
教育の重要性  
教育の重要性

長短

文章の巧拙、名文を著せ、  
拙文はよくなし。

拙文はよくなし、  
美しき文

文章の巧拙、名文を著せ、  
拙文はよくなし。

文章の巧拙、名文を著せ、  
拙文はよくなし。

一、素朴の技術

素朴の技術、  
素朴の技術

一、素朴の技術

素朴の技術、  
素朴の技術

素朴の技術、  
素朴の技術

北海道民生生活実相調査報告  
作新石の精査

二六、一〇、  
(調査要項ありあり)

才一部

ル、ブレイカ、フランスの国民の生活  
「能」を現示するに、元々フランスに  
分金口より東京二十万円を運出  
このは計測を要し、  
ハムより可し。もつと確し、  
東京よりなく、  
フリ、又地産物の  
本と東京は元々、  
のよ綿密に。年計の時漸次  
類型化する。

才二部  
才二部とは北海道全体の  
費を一人あたりに出す。

才一部



鴨居村 第五

村のその外は、アは有りませう、  
「ア」は「ア」

余の故郷村の調査  
「我が村の調査」  
「我が村の自然史」

皆断片的、部分的

打取らば、あゝが死んで、  
「ア」

此の如く、  
「ア」

又、  
「ア」

統計の数字

統計指導的

統計指導的、人の名、同族の

統計指導的、人の名

統計指導的、人の名、  
「ア」

統計指導的、人の名、  
「ア」

「ア」は「ア」  
「ア」

の打つくり、生活の改善、

教育の計画、村の改善、

健全な思想、精神、  
「ア」

おもしろい、  
「ア」

「ア」

行文流暢、  
「ア」

皆作程の中、  
「ア」

「ア」

「ア」

「ア」

「ア」

行くべき道を表し、そこへ成長し、行く  
おのれをみよと云ふ。打つた石の設計  
である。  
中雪をマニターとす、ルン、ルン、  
アイの同様の分折

峠を越え、生活。住居、ついでに  
の海は、これより人よかと思はれ、  
最低の生活とはこんなもの、  
下十何分の所を、  
その中を、はた、  
気力の人々に、  
や、  
や、

多くの統計や国表、  
の移る、  
ストーリー、  
信、  
愛、  
情、  
を、

ついでに在りては、其多山史二氏一宗  
文化の夾節

その一、橋本知大を以て其多  
の山、手ん伝んて居る大正十三年  
の書、其ん命の生誕を感じ、後述。  
アス平ノ高あおえ

五の二、尾形傳のあそすの出来  
のそ、七の二、山の中、の生活、牧場也

松井同族 同族異同研究

山崎伊佐の伝記

岩崎の村人の声 藤原岩崎等

オントン

四半回ほどを、多城を伝へて居る

了は、冬のはじめにオントンのりめ

わしと若にたしなむ。オントンは

近の道もさうりいしオントンの申しは

春の初な新しかた始かすかあつた。

多城りやよひり、人の家はまとして

日東式伝説で、空おや洋風の

店拓アンはストロフを回らして居るが

居了は大抵オントンにかつて

居る。若者常夜をオントン

いし、片と人まある。オントンには

の道を回らたか、一歩の中を二

分して一方をオントンにし一方は

をいして、ところよして。オントンは

朝夕二回石炭かきまて、丁

日と、向方の中 常にかい、あか

そのあ、造りし、たすのて、あつた。

葛の春、世を水盤の甲は、常

二、一名中身し、居る人ま

オントンの、暖かすは、北常んやわう

あつた。焼や、折木少し、あつた

湯浴、あつた。ストロフの、あつた

揚陸、あつた。あつた。あつた

経済です。

北極にまで一歩も進めずにはい

てゐる、進んでゐる。北極の氷を

このハッソン達4人の宗、乞し、石炭。

けれど、若しオントンがあれは

わいの苦惱は半減してゐる。

北極に侵入するのあゝ人も北極

には雪山片々を去るのん、どうし

オントンが北極の同のいふ、いふ

わいの、私はそれと、いつて、不

知ん、どうして。日本は海を、

高、い、は、極、南、の、氷、の、中、が、く、つ、れ

と、か、村、押、の、石、不、お、つ、ん、ん

わ、い、と、い、あ、人、も、あ、る、が、そ、う、な、り、

は、あ、つ、た、と、い、あ、る、の、似、合、が、あ

え、い、し、ら、か、し、工、夫、が、あ、り、す、ぐ、な

ん、と、お、か、よ、う、な、り、。

北、極、は、最、後、の、南、極、の、い、

北、極、の、北、極、行、した、と、い、ん、な、山

白、雪、の、地、が、伏、尻、に、も、オ、ン、ト、ン、は

あ、る、な、オ、ン、ト、ン、は、最、後、の、北、極、の、

北、極、の、北、極、山、の、北、極、の、

北、極、の、北、極、の、北、極、の、

か、い、か、北、極、の、北、極、の、北、極、の、





略史のちよよの世先への渡り好する日

一、中世文化、文化の意味、文化の伝説

日東の文化、西東の文化、中世文化都市文化

二、北海道の中世文化、物産の大変革、宗廟の三

三、北海道の中世文化、二つの型、此二型は

世界的二型、打撃器、磨石、

四、中世の北海道を中世、縄文文化の生活

中世の文化、生活、生活、生活

中世の文化、生活、生活、生活

中世の文化、生活、生活、生活

中世の文化、生活、生活、生活

中世の文化、生活、生活、生活

中世の文化、生活、生活、生活

中世の文化、生活、生活、生活

中世の文化、生活、生活、生活

中世の文化、生活、生活、生活

中世の文化、生活、生活、生活

思ひ切、この時、  
の洋風にも、  
のあ、  
オ、  
連、  
れ、  
は、  
采、  
を、

雁戸と居小屋

栗原林

一、聯合のサンツル調査

その全一性と部族の独立  
性を集團分析による。

石子先天地の利用を  
確めよ。

一、このサンツル聯合の存在を

あしう行政村に於て

を足し、その内観合による

五区分の（地代と地租）

の了解を明かす。

十月  
十二日

十一月三十一日 栗原林

奥尻島

2 尾花本寺

山形市

2 湊口辰朗

不良少年

3 川田本

孔令心

2 川田本

田舎町商店

3 中村

山形市文化

2 市街

札幌市

2 市内

札幌市

2 中島

2 矢代

2 札幌

心  
字